

# I 事業報告

## 1. 総会・理事会

### (1) 第22回通常総会

- ・日 時 平成24年6月1日(火) 14:00~15:00
- ・場 所 ホテルアジュール竹芝 14階 天平の間  
東京都港区海岸1丁目11番2号
- ・議決事項
  - 第1号議案 平成23年度事業報告及び決算報告に関する件
  - 第2号議案 平成24年度事業計画及び収支予算に関する件
  - 第3号議案 会費徴収規程の変更に関する件
  - 第4号議案 当局への要望に関する件
  - 第5号議案 一般社団法人への移行に関する件
  - 第6号議案 役員の人事に関する件

### (2) 第48回理事会

- ・日 時: 平成24年6月1日(金) 12:00~13:50
- ・場 所: ホテルアジュール竹芝 14階 天平の間  
東京都港区海岸1丁目11番2号
- ・議決事項
  - 第1号議案 平成23年度事業報告及び決算報告に関する件
  - 第2号議案 平成24年度事業計画及び収支予算に関する件
  - 第3号議案 会費徴収規程の変更に関する件
  - 第4号議案 当局への要望に関する件
  - 第5号議案 一般社団法人への移行に関する件
  - 第6号議案 役員の人事に関する件
  - 第7号議案 会員の入会に関する件

### (3) 第49回理事会

- ・日 時: 平成24年6月1日(金) 15:05~15:25

- ・場 所：ホテルアジュール竹芝 14F 天平の間  
東京都港区海岸 1 丁目 11 番 2 号

- ・議決事項

- 第 1 号議案 会長、副会長及び専務理事の選任並びに副会長の順序に関する件
- 第 2 号議案 顧問の選任に関する件

(4) 第 50 回理事会

- ・日 時：平成 25 年 3 月 5 日 (火) 12:00～14:30
- ・場 所：ホテル アジュール竹芝 16 階 橘の間  
東京都港区海岸 1 丁目 11 番 2 号

- ・議決事項

- 第 1 号議案 平成 25 年度暫定予算に関する件
- 第 2 号議案 会員入会の件
- 第 3 号議案 顧問選任の件
- 第 4 号議案 一般社団法人移行に係る事業引当金特定資産の取り扱いの件
- 第 5 号議案 一般社団法人移行に係る諸規程の改定の件
- 第 6 号議案 一般社団法人移行後における専務理事の業務の件
- 第 7 号議案 総会開催の件

## 2. ウォーターフロント開発・振興支援業務

(1) ウォーターフロント振興支援（助成）事業の実施

1) ウォーターフロント振興支援事業成果報告会の実施

- ・日 時：平成 24 年 6 月 1 日 10:30～11:50
- ・場 所：ホテルアジュール竹芝 14 階天平の間  
東京都港区海岸 1 丁目 11 番 2 号

平成 23 年度に実施されたウォーターフロント振興支援事業 2 港 2 事業の報告がなされ、意見交換がおこなわれた。また、ウォーターフロント振興支援事業選定委員の講評をもらった。

① 「赤レンガ倉庫創建 100 周年記念事業」

横浜市 港湾局 みなと賑わい振興部賑わい振興課担当係長 吉澤 智

担当 河辺 良晋

② 「港の玄関口・大阪港天保山～港を舞台に国際交流～」

公益社団法人 大阪港振興協会 城村 雅人

2) 平成 25 年度「ウォーターフロント振興支援事業」の決定

平成 25 年 1 月に開催された選定委員会の選考に基づき、次の 3 件を決定した。

《豊かなウォーターフロント形成支援事業》

① 新潟東港

聖籠町地域活性化事業—聖籠マリンフェスティバル 申請者 聖籠町

② 三河港

蒲郡みなとフェスティバル 申請者 蒲郡市

《みなとまちづくりマイスター派遣支援事業》

① 鹿児島港

「外から見た鹿児島」講演会 NPO 法人ゆめみなと鹿児島

決定に先立ちウォーターフロント振興支援事業選定委員会が開催された。

- ・日 時：平成 25 年 1 月 31 日（木） 14：00～16：00
- ・場 所：社団法人ウォーターフロント開発協会 東京都港区芝浦 3-11-9
- ・委 員： (五十音順、敬称略)
  - 佐藤 成美 横浜港埠頭株式会社 常務取締役（委員長）
  - 佐藤 浩孝 株式会社 NIPPO 執行役員
  - 高田 昌行 国土交通省 港湾局 産業港湾課長
  - (代理) 久田 成昭 産業港湾課 課長補佐（総括）
  - 原 重一 原重一観光研究所 主宰
  - 廻 洋子 淑徳大学 経営学部 観光経営学科 学科長教授
  - 横内 憲久 日本大学 理工学部 建築学科 教授

(2) 「みなとオアシス全国協議会」の運営

- 1) 総 会 平成 24 年 10 月 5 日（金） 於 アクアマリンふくしま
- 2) 理事会 平成 24 年 10 月 5 日（金） 於 アクアマリンふくしま
- 3) その他
  - ・メールマガジン「みなとオアシス便り」を毎月 1 回配信
  - ・「港弁」と「Sea 級グルメ」の展開

なお、みなとオアシス Sea 級グルメ全国大会は、今後ともみなとオアシス全国協

議会の行事として開催することが理事会で確認された。

(3) 「みなとオアシスSea級グルメ」及び「港弁」の振興支援

- ・第2回みなとオアシスSea級グルメ全国大会 in 小名浜
- ・日程：平成24年10月6日（土）～7日（日）
- ・場所：アクアマリンパーク 小名浜港1、2号埠頭  
16オアシスが出店、境港とモントレイ港が特別参加。

(4) 「みなとの博物館ネットワーク・フォーラム」の運営

- 1) 総会 平成24年6月15日（金）於 横浜みなと博物館
- 2) 拡大役員会 平成25年2月15日（金）於 世界貿易センタークラブ
- 3) 企画委員会
  - 第1回 平成24年7月19日（木）於 社団法人ウォーターフロント開発協会
  - 第2回 平成24年10月11日（木）於 社団法人ウォーターフロント開発協会
  - 第3回 平成25年3月8日（金）於 社団法人ウォーターフロント開発協会
- 4) 主な事業
  - ・会報No.8 発行
  - ・メールマガジン「みなとの博物館情報」を平成22年9月より毎月1回配信
  - ・助成事業
    - ・平成24年12月13日（木）に開催された助成事業審査委員会において平成25年度の助成館7館と助成金額を決定
  - ・スキルアップ交流会
    - 平成24年12月19日（水）～20日（木）『なにわの海の時空館』と帆船「あこがれ」にて実施
  - ・ポスターの配布
- 5) その他
  - ・「今月の逸品」を毎月1回メールマガジンに掲載。
    - 4月 vol.6 名古屋海洋博物館「神島信号所」双眼鏡
    - 5月 vol.7 なにわの海の時空館「ラッキードラゴン」
    - 6月 vol.8 神戸海洋博物館「Cunard社の現役クルーズ客船の模型3点
    - 7月 vol.9 大和ミュージアム「1/10戦艦『大和』」
    - 8月 vol.10 わかちく史料館「川艦（かわひらた）[五平太舟]復元模型」
    - 9月 vol.11 みちのく北方漁船博物館「復元北前型弁才船みちのく丸」
    - 10月 vol.12 苫小牧ミニポートミュージアム「フェリーモデルシップ達」

- 11月 vol.13 青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸「青函ワールド」
- 12月 vol.14 山形県酒田海洋センター「傘福」
- 1月 vol.15 新潟市歴史博物館「みなとぴあ」「国指定重要文化財旧新潟税関庁舎」
- 2月 vol.16 日本海交流センター・帆船海王丸（海王丸パーク）の「帆船海王丸」
- 3月 vol.17 石川県銭屋五兵衛記念館「銭五（銭屋五兵衛）家旧蔵仏壇」

#### （5）国、関係団体への要望活動

当協会の活動への支援等について、国土交通省に対し2回に分けて要望活動を行った。

##### 1) 第1回目

- ・日時：平成24年10月26日
- ・要望先：国土交通省港湾局
  - 山縣 宣彦 港湾局長
  - 高田 昌行 産業港湾課長
  - 池上 正春 海洋・環境課長
- ・要望内容：
  - ・みなとまちづくりに関する活動への支援
  - ・官民の適切な役割分担に基づく官民連携事業の推進
  - ・ウォーターフロントの復旧・復興に係る支援
  - ・みなとの博物館ネットワーク・フォーラムの活動に対する支援の継続

##### 2) 第2回目

- ・日時：平成24年11月14日
- ・要望先：国土交通省港湾局
  - 難波 喬司 大臣官房技術参事官
  - 大脇 崇 技術企画課長
- ・要望内容：「汚濁防止膜再利用カーテン強度証明制度」の創設について

### 3. ウォーターフロント啓発普及業務

#### （1）「みなとまちづくりマイスター」の認定

##### 1) 平成24年度『みなとまちづくりマイスター』の認定

「選定委員会」にて選定された次の6名を平成24年7月16日「海の日」付けで認定した。なお、認定された『みなとまちづくりマイスター』については、「ウォーターフロント開発 NO.30」にて紹介を行った。

杉本 匡規 みなとオアシス網走運営協議会 代表（網走港）

濱谷 和雄 「釧路港舟漕ぎ大会」実行委員会 会長（釧路港）  
渡部 正人 NPO 法人あおもりみなとクラブ 理事長（青森港）  
安部 義孝 アクアマリンふくしま 館長（小名浜港）  
雨宮 洋司 「みなとガイド養成塾」 塾長（伏木富山港）  
岸 安志 NPO 法人鳥取・賀露みなとオアシス 理事長（鳥取港）

※濱谷和雄氏は平成 24 年 12 月 10 日ご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

※今回の認定により、全国の『みなとまちづくりマイスター』は総計 36 名となった。

#### 『みなとまちづくりマイスター』選定委員会

- ・日 時：平成 24 年 6 月 28 日（木） 12：00～14：00
- ・場 所：社団法人ウォーターフロント開発協会 東京都港区芝浦 3-11-9
- ・委 員：（五十音順、敬称略）

佐藤 浩孝 株式会社 NIPPO 執行役員

高田 昌行 国土交通省 港湾局 産業港湾課長

（代理）佐藤匡之 産業港湾課 専門官

原 重一 原重一観光研究所 主宰

廻 洋子 淑徳大学経営学部 観光経営学科 学科長教授

横内 憲久 日本大学 理工学部 建築学科 教授（委員長）

なお『みなとまちづくりマイスター』4名は、8月7日、国土交通省港湾局長より表彰された。濱谷氏、渡部氏は欠席のため、後日それぞれ国土交通省釧路港湾事務所、青森港湾事務所で表彰状を授与された。

#### 2) 『みなとまちづくりマイスター』認定記念シンポジウム

これまでに認定された『みなとまちづくりマイスター』の相互交流・意見交換・情報発信のため、全国交流会を行った。

なお、交流会の内容は、メルマガ「みなとまちづくり通信」(No.81～No.82)にて配信すると共に、「ウォーターフロント開発 NO. 30」にて報告した。

・日 時 平成 24 年 8 月 7 日（火） 16：00～17：50

・場 所 ホテル アジュール竹芝 14 階 天平の間

東京都港区海岸 1 丁目 11 番 2 号

～みなとまちづくりマイスター 全国交流会～

テーマ「これからのみなとまちづくり」

○ パネラー

杉本 匡規	網走港	みなとオアシス網走運営協議会 代表
本間 弘人	釧路港	釧路商工会議所青年部 総務広報渉外委員会 委員長
安部 義孝	小名浜港	アクアマリンふくしま 館長
雨宮 洋司	伏木富山港	「みなとガイド養成塾」塾長
中川 庄嗣	衣浦港	市民ボランティア団体 渡し場かもめ会 相談役
田村 伴次	名古屋港	NPO 法人伊勢湾フォーラム 相談役
岸 安志	鳥取港	NPO 法人鳥取・賀露みなとオアシス 理事長
森野 一郎	小松島港	NPO 法人港まちづくりファンタジーハーバーこまつしま副理事長
谷本典量央	八幡浜港	八幡浜港みなとまちづくり協議会 会長
大谷 鮎子	博多港	NPO 法人九州キラキラみなとネットワーク 理事長
川畑 孝則	鹿児島港	NPO 法人ゆめみなと鹿児島 副理事長

○ コーディネーター

橋間 元徳 社団法人ウォーターフロント開発協会 専務理事

(2) みなとまちづくり研究会

[第9回研究会]

- ・日 時 : 平成24年6月1日(水) 15:30~17:20
- ・場 所 : ホテル アジュール竹芝 14階 天平の間  
東京都港区海岸1丁目11番2号

第1部 「食とみなとまちづくり」大討論会

- ・報告: 食に関する協会の活動状況
- ・参加者全員による討議 (司会 橋間元徳)

第2部 交流会

[第10回研究会]

- ・日 時 : 平成24年10月5日(金) ~6日(土)
- ・場 所 : アクアマリンふくしま いわき市小名浜辰巳町50
- ・基調報告 アクアマリンふくしま 館長 安部義孝  
株式会社バス・コーポレーション 代表取締役 小熊 俊行
- ・参加者全員による討議 (司会 橋間元徳)

(3) ウォーターフロント研究サロンの開催

1) ウォーターフロント研究サロン

ウォーターフロント研究サロンとして、毎月1回、当協会事務所にて、知見ある講師

による幅広いテーマでの講演及び討議を行った。

講演内容については、メールマガジン「WFニュース」で随時報告し、主要テーマについては「ウォーターフロント研究レポート」として発行した。

第39回 4月10日（火）

『PFI/PPP 事業促進のための処方箋』

株式会社大和総研 調査提言企画室 主席研究員 長谷部 正道

卯月特別 4月26日（木）

『ANA沖縄貨物ハブ事業の概要とその可能性』

全日本空輸株式会社 貨物本部 副本部長 高田 征彦

第40回 5月15日（火）

『海洋基本法見直しの年に

海洋リテラシーとプレジャーボート・マリーナについて』

三井不動産株式会社 S&E 総合研究所 山本 淳一

第41回 6月7日（木）

『沖縄の港湾について』

一般財団法人国際臨海開発研究センター

国際港湾政策研究所調査役 舘野 美久

第42回 7月18日（水）

『自治体出向者の霞が関文化見聞録

～特に港湾局を対象とした実務的比較文化論のような話～』

新潟県 交通政策局 空港課 空港振興担当 主査 黒崎 直史

第43回 8月6日（月）

『遠隔離島の保安と国土保全』

横浜国立大学 大学院国際社会科学研究所 教授 池田 龍彦

第44回 9月4日（火）

『東日本大震災について～元災害査定官から見た災害の特徴と現場的考察』

日本港湾建設協会連合会 前専務理事 宮本 正敏

第45回 10月2日（火）

『日本のウォーターフロント活用の残念な事例』

社団法人ウォーターフロント開発協会 前専務理事 青木 義典

第46回 11月5日（月）

『地球温暖化と異常気象』

一般財団法人日本気象協会 環境事業部 地球環境課

理学博士、技術士（建設環境）、気象予報士 工藤 泰子

第47回 12月3日（月）

『油濁被害などからウォーターフロントを守るため』

株式会社ロックブリッジ 代表取締役社長 岩橋 洋光



第48回 1月16日(水)

『マルセイユ・ジェノヴァ・ニース等のウォーターフロントを巡って』

社団法人ウォーターフロント開発協会 会長 川島 毅

第49回 2月19日(火)

『真実の忠臣蔵』

財団法人中央義士会 理事 柿崎 輝彦

第50回 3月13日(水)

『忙中閑あり～何とはなしに俳句づくり』

NPO 法人港湾保安対策機構 会長 木本 英明

#### (4) ウォーターフロント環境研究会の開催

ウォーターフロント環境研究会に「海洋環境保全技術委員会」を設け、「汚濁防止膜再利用カーテンの強度証明制度」を創設すべく研究を進めている。

平成23年度から2カ年計画で、財団法人港湾空港建設技術サービスセンターに依頼して「汚濁防止膜再利用カーテン強度証明基準作成検討委員会」を設置し、検討を進めた。

なお、平成23年9月から平成24年9月までの1年間新潟東港に汚濁防止膜を設置し、国土交通省の御指導を得ながら実海域における強度劣化のデータを収集した。

#### 〈汚濁防止膜再利用カーテン強度証明基準作成検討委員会名簿〉

委員長 新井 洋一 NPO 法人リサイクルソリューション 理事長

委員 平石 哲也 京都大学防災研究所

流域災害研究センター沿岸域土砂環境研究領域 教授

委員 長尾 毅 国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾研究部長

委員 寺内 潔 社団法人日本埋立浚渫協会 第一調査研究部長

委員 芳倉 勝治 国土交通省 港湾局 技術企画課 課長補佐

委員 福尾 原悟 国土交通省 港湾局 技術企画課 建設企画室 施工基準係長

委員 阿部 二郎 国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 港湾整備・補償課長

委員 松尾 認 東京都港湾局 港湾整備部 技術管理課長

#### 平成24年第1回

日時：平成24年12月6日(木) 15時～17時

場所：財団法人港湾空港建設技術サービスセンター 東京都千代田区霞が関3-3-1

#### 平成24年第2回

日時：平成25年3月15日(金) 15時～17時

場所：財団法人港湾空港建設技術サービスセンター 東京都千代田区霞が関3-3-1

(5) ウォーターフロント研究レポート、機関誌「ウォーターフロント開発」等の発行

1) ウォーターフロント研究レポート 2012 Autumn

vol. 27 「貝殻利用技術 JF シェルナースの効果について」

海洋建設株式会社 代表取締役 片山 真基

vol. 28 「海外港湾開発プロジェクトにおける官民連携の動向」

株式会社オリエンタルコンサルタンツ GC 事業本部港湾開発部  
プロジェクト部長 鈴木 雅人

vol. 29 「旧街道を歩いて」

歴史街道を歩いてみよう『江戸五街道』旅日記 著者 八尋 章文

vol. 30 「健康に元気に働こう」 NPO 法人 海ロマン 21 理事長 久田 安夫

vol. 31 「沖縄の港に期待する」 日本郵船株式会社 元副社長 平野 裕司

vol. 32 「ディズニーランドに学ぶ集客マーケティング」

株式会社バス・コーポレーション 代表取締役 小熊 俊行

vol. 33 「PFI/PPP 事業促進のための処方箋」

株式会社大和総研 調査提言企画室 主席研究員 長谷部 正道

vol. 34 「海洋基本法」海洋基本計画見直しの年に

「海洋リテラシーとプレジャーポート、マリーナについて」

三井不動産株式会社 S&E 総合研究所 専門役 山本 淳一

vol. 35 「沖縄の港湾について」

一般財団法人国際臨海開発研究センター 国際港湾政策研究所  
調査役 舘野 美久

2) ウォーターフロント研究レポート 2013 Spring

vol. 36 「北ヨーロッパの港湾都市を巡って」

社団法人ウォーターフロント開発協会 会長 川崎 裕康

vol. 37 「ANA 沖縄貨物ハブ事業の概要とその可能性」

全日本空輸株式会社 貨物本部 副本部長 高田 征彦

vol. 38 「自治体出向者の霞が関文化見聞録

～特に港湾局を対象とした実務的比較文化論のような話～」

新潟県 交通政策局 空港課 空港振興担当 主査 黒崎 直史

vol. 39 「遠隔離島の保安と国土保全」

横浜国立大学大学院 国際社会科学部 教授 池田 龍彦

vol. 40 「東日本大震災について

—元災害査定官から見た災害の特徴と現場的考察—

日本港湾空港建設協会連合会 前専務理事 宮本 正敏

vol. 41 「日本のウォーターフロント活用の少し残念な事例」

社団法人ウォーターフロント開発協会 前専務理事 青木 義典

vol. 42 「地球温暖化と異常気象」

一般財団法人日本気象協会 環境事業部 地球環境課

理学博士、技術士（建設環境）、気象予報士 工藤 泰子

vol. 43 「油濁被害などからウォーターフロントを守るために」

株式会社ロックブリッジ 代表取締役 岩橋 洋光

### 3) 機関誌の発行

ウォーターフロント開発に関する情報交換の促進を目的として、平成24年12月に機関誌「ウォーターフロント開発 NO.30」を発行し、会員及び国の行政機関等に配布した。

### (6) 「ウォーターフロントに関する商品・企画・アイデアの紹介」

豊かなウォーターフロント形成のため、会員が有する商品・企画・アイデアを当協会ホームページにて紹介を始めた。現在3社から3アイテムを紹介している。

### (7) クルーズヨット「ユーホリアン」体験乗船

昨年一年間の体験乗船は55名。船の操船・メンテナンス等にボランティアクルー12名で対応。随時メルマガで支援の協力をお願いしている。

#### ・ボランティアクルー名簿

浦野 光央	江口 肇	國松 靖	佐藤 孝夫
塩崎 正孝	竹内 豊	橋間 元徳	橋本 光壽
福本 進	松田 賢	山根 隆行	吉田 昌兼

#### ・特別企画「ユーホリアン」スローライフ&ハッピーアワー

日 時 平成24年10月21日（日） 11:00～15:00

場 所 横浜ベイサイドマリーナ（横浜市金沢区白帆町1番地）

体験乗船者、ボランティアクルー及び関係者により船上でのStayを楽しむ。

(8) メールマガジン、ホームページ等による情報発信及び情報交換。

1) 『WFニュース』

協会創設以来、平成 25 年 3 月までに 272 号を配信。平成 20 年 10 月第 221 号よりメールマガジンとして内容も一新、毎月 1 回配信している。

2) 『みなとまちづくり通信』

平成 20 年 7 月海の日にメールマガジンとして創刊号を配信、その後毎月 2 回のペースで配信し、平成 24 年 1 月から毎月 1 回配信している。平成 25 年 3 月までに 87 号を配信。

3) 『みなとオアシス便り』

平成 21 年 7 月海の日にメールマガジンとして創刊号を配信、その後毎月 1 回配信している。平成 25 年 3 月までに 42 号を配信。

4) 『みなとの博物館情報』

平成 22 年 9 月に創刊号を配信、その後毎月 1 回配信している。平成 25 年 3 月までに 31 号を配信。

#### 4. ウォーターフロント調査研究事業

(1) ウォーターフロント研究開発事業（公益目的事業）

1) 海外のウォーターフロント開発事例に関する情報収集

平成 24 年度は、海外事例として、マレーシアのマレー半島南端ジョホール水道のイスカンダルでのウォーターフロント開発について情報を収集し、機関誌「ウォーターフロント開発 No. 30」にて報告を行った。

2) 平成 24 年度ウォーターフロント開発状況海外調査

この調査は、一般財団法人みなと総合研究財団と建設コンサルタンツ協会を中心とした調査に、当協会の川島会長が副団長として参加した。

目 的 北ヨーロッパの港湾と港町

日 程 平成 23 年 8 月 22 日～9 月 1 日の 11 日間

訪問地 マルセイユ、ジェノヴァ、ニース等

資 料 当協会機関誌「ウォーターフロント開発 NO. 30」に報告を掲載。

(2) ウォーターフロント開発調査事業 (収益目的事業)

1) 受託調査

次の3件を受託し調査を行った。

①「ウォーターフロント開発における防災機能のあり方検討業務」

(国土交通省港湾局)

②沖縄のウォーターフロントを核とした地域振興のあり方検討調査業務

(沖縄総合事務局)

③那覇港振興方策について

(株式会社沖縄中央エンジニアリング)